



報本反始の碑



江倉隧道 この奥に隧道が通っている

## あしなせき 葦名堰とは

葦名堰とは「二ノ台堰」、「刑部堰」とも言われている。

今から約400年前、元和4年、1618年葦名家17代葦名盛信公が二ノ台地域への通水を目指して開削され、以来代々引き継がれ60余年の歳月を経て完成されたといわれている。

衣川村増沢の後川と前川に水源を求め、平地、山間地を経て東流し、小山上野の、山崎揚場、主計谷地揚場への水路開削である。

堰はサイホン方式を交え、平堰と穴堰15か所ずつ交互に開削され、穴堰全長5,538m、平堰全長18,610m、総延長24,148mの驚異的な距離であり、偉大な史跡である。

開削400年を迎え、葦名堰保存会では「400年記念事業実行委員会」を立ち上げ事業に取り組んでいる。



お問い合わせ先

### 葦名堰史跡保存会

会長 若槻慶之進

岩手県奥州市胆沢小山字中沢297

TEL 0197-47-1930

# 葦名堰 二ノ台堰



奥州市  
協働のまちづくり



# 葦名堰路線図

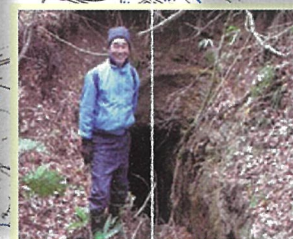
現在のポンプ揚水場



大平裏隧道出口



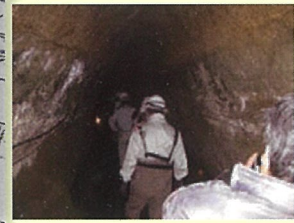
最大の難所江倉



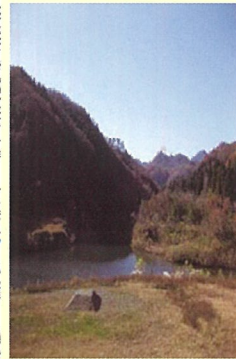
上井戸 (サイホン) 出口



下井戸 (サイホン) 出口



最終湧出隧道内部



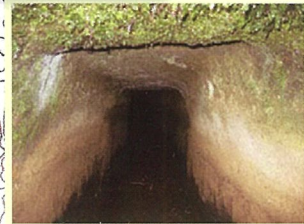
水源増沢ダム



小平隧道出口



人首隧道入口



大平裏隧道内部



最終湧出口



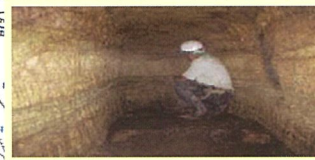
小平平堰



中の森隧道入り口



最終受込修復工事



受込斜坑内部

凡例  
平堰 ——— 穴堰

上井戸、下井戸と2か所のサイホン方式の隧道がある